

財団法人日本エスペラント学会主催

エスペラント講演会

日時：6月25日(土) 13:30-15:30

場所：八ヶ岳エスペラント館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間 1897-1 電話・ファクス：0551-32-7335

主催：財団法人日本エスペラント学会

162-0042 東京都新宿区早稲田町12-3

電話 03-3203-4581 ファックス 03-3203-4582

講師：栗田公明さん

演題：役に立つ言語学習への近道—エスペラントから英語へ

エスペランチストには、他の外国語に堪能な人が多い。聞いてみると、「エスペラントをやったおかげで、他の外国語にも堪能になったんです」という答えが返ってくる。なぜだろう。

英語学習の落とし穴とエスペラント

1. 最初で最大の障害は、勉強したのに英語が聞き取れない、聞きとってもらえない(発音)こと。
エスペラントで自信をつけ、乗り越えることができる。
2. 簡単なことをどう言い出したらいいか分からない。
言語学習の最初は、脱文法が良い。現場で自然に覚えるのがよい。エスペラントで自然に語感を形成できる。(外国のエスペランチストとの交流)
3. 単語を覚えられない。
(とくに見慣れない単語は)脳の中に単語を蓄えるための新しい引き出しを形成する。エスペラントを仲介すれば、経済的に時間を使うことができる。すらすら頭に入る。
4. 日本語の文法と、その英語の文法の間で共通な基盤が見いだせない。
学校では、日本語と英語の文法は、まったく別物として勉強するので、その関係が分からない。この点で、エスペラントが両者の橋渡しとなる。
5. 日本語的な表現がしばしばコミュニケーションの妨げとなる。誤解のもとになる。
エスペラントで話しあっていると、日本語独特の表現の特徴がよくわかる。それがわかると、他の言語へ楽に入って行ける。

エスペラントはどのくらいの時間とエネルギーで学べるか。

(略)

連絡先：エスペラント館には土日以外には当直の人がいませんので、下まで連絡してください。

堀泰雄 電話:027-253-2524 メール: hori-zonto@water.sannet.ne.jp

講師紹介

終戦後(1945年)エスペラントを学び始める。

1958年静岡市で、小川五郎(=高杉一郎)先生の下で、エスペラント会の講師を務める。

1960年、沼津エスペラント会、エスペランチスト平和の会に加わり、勤務していた県立沼津工業
高校内にエスペラントのクラブを設立。

1983年日本エスペラント学会の理事になる。その後、日本エスペラント運動100周年の経理を務
める。

八ヶ岳エスペラント館関係では、館設立以来運営委員、運営委員長を歴任。